

第5回フォーラム 振り返り用資料

▶▶▶ フォーラムの中心の考え方

- 【仮説】「原子カムラ」の境界を越えるために、市民と専門家が対等な立場で、お互いの間のギャップとはそもそも何なのか、なぜそれが生じたのかを、知識、情報量、経験、社会的立場、価値観、人生観等までを含んだ、お互いのコンテクストを共有し、お互いに尊重することを可能とする仕組みが必要である。

【課題】 どうしたら異なるお互いを「尊重」できるようになるのか？

- シンパシーとエンパシー（一般には、共に「共感」と訳される）
 - シンパシー：感情移入・・・本人になりかわって考える。
 - エンパシー：自己移入・・・本人の気持ちは本人にしかわからない。
- エンパシー的な考え方を身に付け、「自分とは異なる考え方も、また真なり」と考えることができるようにならなければならない。
- そのように考えることを良しとする雰囲気を作らなければならない。

▶▶▶ 今までの流れ

- 第1回フォーラム：「原子カムラ」とはなんだろうか？
 - 「原子カムラ」という言葉のイメージをお互いに共有して、「原子カムラ」というものをどう捉えればよいのかについてのヒントを得る。
- 第2回フォーラム：なぜ、原子カムラはなんとなく良いイメージを持たれないのか？ そのイメージを払拭するためには、どうしたら良いだろうか？
 - 第1回フォーラムから、原子カムラは、言葉のイメージも、その性質としても、あまり良いイメージをもたれていないことがわかった。このグループワークでは、その理由や原因を話し合っまとめ、さらには、それを払拭するためのアイデアを話し合う。
- 第3回フォーラム：原子力に関心を持つためにはどうしたらよいか？ 無関心は本当にダメなのか？ 「原子力への関心」とはそもそも何なのか？
 - 第2回フォーラムから、「原子カムラ」が持たれているイメージを払拭するためのキーワードとして、「原子力への関心」「教育」「情報や組織の透明性の向上」等が挙げられた。第3回フォーラムでは、「原子力への関心」というものに焦点を当てて、深く話し合う。
- 第4回フォーラム：原子力は本当に安全か？原子力は本当に必要か？ 原子力はやめることができるのか？ エネルギーの中の原子力の位置づけは？
 - 原子力の安全や必要性、エネルギー全体に関する各自の意見を交換することを目的として行う。

原子カムラとはなんだろう？ (A・1/2)

原子力を信奉している集団	市民に「原発安全」とまちがって説明した人たちの集団	「村」自体は差別用語と思わない	差別用語	ムラって？	税金で守られた特権組織	ムラのバウンダリー（境界）はどこなのか	利害団体
ヤミクモに推進	悪者？	唯一の被爆国なのになぜ？	原発事故処理後手後手	放射線被曝うやむや	再生可能エネルギーへの障壁	人間の一面しか表わさない	一般人との温度差
原子力の組織にしばられている人たち	原子力の共通利害に関わっている人々	科学信奉者	物理が好きで文系を嫌いな（バカにする）人	原子力技術者の家族も「ムラ」人か？	プライベートは「ムラ」の外？	安全の基準は明確	内部被曝の連鎖に対し不説明
閉鎖的	隠ぺい体質	とっつきにくい	あ・うんの関係	身内意識	経営と現場のカイリ	放射線に鈍感	

選択された意見

①原子力発電推進団体	②自然エネルギー反対ムラ	③専門家集団	④原子力の専門外から見た反原発の意思表示	⑤利益関係が強い	⑥原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ	⑦不透明
		専門家集団				
		原子カムラ人 = 原子力関係の仕事をしている人 (専門家)				

原子カムラとはなんだろう？ (A・2/2)

①原子力発電推進団体

確かに正しいと思う

甘い汁を吸ったことに対するネタミがある。(日本人の行動原理)

推進派だと思われる。共感する。

推進する考えは多いが必ずしも全員ではない。自分がムラ人という意識のない人もいる。

同意

②自然エネルギー反対ムラ

同感です

間違った、かつ不純な動機。動機が不純だと不幸な結果(事故)がおきる。

②に反対。原発推進、反原発のスローガン。自然エネルギー推進は別物。言葉がスローガンだけになっている。

必ずしも反対ではない。ムラ人で太陽光発電を使っている人もいる。

②にある程度共感。全員がとは思えない。

実態としてムラビトは自然エネルギーに反対しているわけではない

③専門家集団

確かに専門家にしかできない

全く同感

同感。そのように受け止められる。

そういう印象

④原子力の専門外から見た反原発の意思表示

そのとおり

同感
他の専門家集団もムラだとは思

同感です
そうしか受け止められない

⑤利益関係が強い

YES and NO
「専門家の中でも甘い汁を吸った東電だけが村の住人」と専門家は思っている

事実政府から支援を受けている

同感

同感
利益を他を犠牲にして追っているイメージなのだと思う

そうかな

⑥原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ

同感です

コミュニティには良い意味もある

たぶんそう。厳密には発電関係をさす言葉では？

同感
原子力関係者でもそう思っていない人もいる

⑦不透明

同感です。何をしているかよくわからない。

共感。
一般になかなか伝わってこない。

外から不透明と見えても中からはそう思わない

不都合を隠すことは原子力に限らないが、そういう体質は確かにあると思う

世間の印象はそうだろう

プレゼンテーションが下手。あえてやっていないのか。

その他の意見

ゴウマンに見える

日本的

根本にねたみ

不透明さもある

原子カムラとはなんだろうか？ (B・1/2)

専門外の人々が原子力業界を指す言葉。やや差別的	本質は日本の習慣・文化に根ざすのでは？	原子力についてよくわからないから生まれた言葉	マスコミが嫌いな人たちにつけた名前	言葉だけが一人歩きしている感じがする	カタカナがいかにも(マイナスイメージ) (言葉のマジック)	マイナスな考え	一般の人との区別(差別?)
内部のモノは意識なかった	言葉がわからなかった	自分の知らない世界(初めて聞いた)	総合技術力の集団	規制- 電力・メーカ・研究...	この業界とても広いが、事故後、電力とその仲間たち?	東大・京大の原子力学科出身・原子力学科の同窓会	学科が少ない
原子力の会社で働いている人	原子力で生活してる人	原子力立地で生活している人	アクチノイドの元素記号が言える	原子カムラは放射線被ばくにどんかん	人事異動が少ない	原子力関係者で越えるコミュニケーション	マイナスの情報は出さない(イメージ)
電力会社も入っている	電力会社は含まれない	元素記号を言える人	ムラびとになるとお金持ちになる(イメージ)	政府無責任	安心神話		

選択された意見

①外の方からのイメージは閉鎖的	②産・官・学利益団体	③専門家の集まり	④ムラとムラの外との乖離が大	⑤原子力発電を推進する側の人たち
ブラックボックスが多い	利権多そう	メーカー、学者、行政など		
閉鎖的	原子力立地の行政(メリットを受けている)	研究者と技術者		

原子カムラとはなんだろう？ (B・2/2)

①外の方からのイメージは閉鎖的

「閉鎖的」というワードに同意です。内にいる方々は自分達だけで理解したらいと考えているようで、外に発信を正しくしていない。また、外から見ても隠ぺい体質というか、悪い情報は隠し、出さないで済ませようとしているように見えます。開放感のない不透明な団体と思えます。

閉鎖的だから「ムラ」という言い方をしたと思う。市民にとってわかりやすい窓口がないから。

ある程度閉鎖的になってしまうのは仕方ないことだと思う。

高度な技術のため理解できない人たちが多く、閉鎖的なイメージとなっているだけ

教育の機会が少ないから

閉鎖的であるイメージは確かにあると思う。一般的な方にとって触れる機会が少ないから。

②産・官・学利益団体

「利益団体」とは利益を生むものに対して群がり、生産性と利益を追求するあまり、不利益なものは隠して排除している団体と見えます。また、交付金がたくさん落ちるので、お金が絡んだ団体です。

不透明な利権が動くという点でムラと言われるのは、そうだろうなと思う

悪いイメージの中に利益のために推進する人たちというニュアンスがあると感じる。

原子力業界は利潤が業界内で収束しているように見えるのはあると思う。

原発で事故が起こったときのことをあまり研究してなかったのが問題だと思う

巨大産業は利益が絡み、他の分野も同じ。

③専門家の集まり

専門家集団と思う。ただ被爆や事故について疎かった。鈍感すぎる対応をして生命を危険に曝してしまったことについての専門家は不在です。

「ムラ」という集団をイメージする言葉から、一定の分野の専門家を指すという点で納得

よくわからない=専門家しかわからないこと

専門家の集まりだけではムラにならないと思う。(他の業界・産業もムラになる)

④ムラとムラの外との乖離が大

ムラとムラ以外のギャップが大きすぎる。安心安全を神話として信奉していたが、現実派そうではなかったことへの対応が悪くギャップ・乖離が大きいことに鈍感ではないか。

一般市民とわかるための言葉=ギャップを表すために使っている？

ムラの中心とムラから遠く離れたコミュニティとの乖離が大きいことは予想できるが、ムラの境界がはっきりしないので境界付近のコミュニティ同士はそれほど乖離していないのではないかと思う。

原子力に対する情報をマスコミに任せっぱなしではないか

⑤原子力推進を推進する側の人たち

Yes

原子力を推進して利潤を生んでいる団体=原子カムラというイメージ。再生可能エネルギーを推進する気はない。

なんとなくそう思う。原子力反対派に対する言葉として使われている

推進側だとムラの一員と言う扱いになる可能性はあると思う

原子力を推進する理由は様々だと思うので、推進に賛成する人を全てムラとしてしまうのは違うのではないかなと思う。

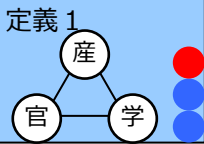
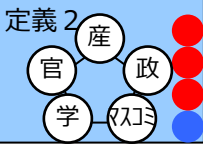
その他の意見

普段考えたことがなかったのが背景が書けない








知っている、知らないの格差がありすぎる

専門家のイメージが違ったので意外すぎる

原子カムラとはなんだろう？ (C・1/2)

原子カムラは昔からあったのに市民はその存在を知らなかった	イダテツナリさんが作った単語	何重にもムラがある	原子カムラってどこにあるのか？把握できない	日本そのもの	定義がない	まずは何か解らなかった	原発の出自不良
事故の後に良く聞く	自分たちは使わなかった（今も）	良い言葉でない	原子力発電を推進している人	原子力を進めていく人の集まり	推進する人	「東電だけが村の住人」と専門家は思っている	自分たちの中だけで利益を回しているのがムラ
定義1 	定義2 	「原子力で働く人はすべて村の住人」と市民は思っている	事業そのもので利益の方	信念がある（ブレない）	狭い業界	狭い	マスコミも原子カムラの話で利益だからムラの一員かも
原子力利用関係者は入らない発電者のみ	利益を得る人	甘い汁を吸った人間が「村の住人」（定義の違い）					

選択された意見

① マスコミの誘導がある 	② 原子力の専門家の集まり 	③ 閉鎖的 	④ 何となく悪いイメージ 	⑤ 原子力の業界 	⑥ 外の話を受けない 
マスコミによる批判 					

原子カムラとはなんだろう？ (C・2/2)

①マスコミの誘導がある

実は個々の人は明確に言葉が「何」「誰」を指すのかわかっていないのでは。言葉のイメージが先行している。

私たち一般市民に専門的な知識がないから

マスコミだけでなく反原発の人達が誘導している

マスコミからしか聞いたことがないから

マスコミからしか聞かない

どのマスコミを指しているのか

福島以前は原子力に興味なかった。みんなが

②原子力の専門の集まり

言葉の通りと感じる

はたして専門家はいたのか？

本当の専門家はいないように思う

③閉鎖的

一般の人からは何をやっているか見えない(これも実はマスコミの論調?)
他の業界でも中が必ずしも見える訳ではない

極めて閉じた関係で構成されていると感じる。高度な知識、専門性がないと話すことすらできない。そもそも身の回りにいない。

データが出てこない

なんとなく外から見ていると独立しているイメージがある

仲間意識が強く閉鎖的である(わからないようにしている)

内部からは出しているはず

事故前は意見を言わせない雰囲気

聞いたことに対して的確な答えが出てこない

④何となく悪いイメージ

事故前はあまり意識されることなかったテーマ。マスコミ等から来ていると思われる。

文脈で良いイメージで使われえた例を知らない。

悪いイメージを作ろうとしてできた言葉(差別)

特にコレといった定義がないため

良いイメージとしては聞かない

キャッチコピー。使い勝手が良い

⑤原子力の業界

言葉の通り。

利益を保つためムラを作っている

⑥外の話を聞かない

コミュニケーション不足を感じる。コミュニケーションが成立しない?

独善的であるので外の話を聞かない。自分たちだけでしようとしている。

何か質問してもはねかえされそうだから

ムラの安全基準と一般国民の安全基準が違う

批判する内容として良く聞く

二極対立になってしまっている

これから、今どうするか、前向きな話につなげたい

その他の意見

「ムラ」→前近代的なイメージ

原子カムラとはなんだろうか？（1/3：言葉のイメージ）

※純粋なイメージの観点（感情的な観点）

※マイナスイメージ

④何となく悪いイメージ

マイナスな考え

悪者？

良い言葉でない

カタカナがいかにも（マイナスイメージ）（言葉のマジック）

※「差別」のイメージ

差別用語

一般の人との区別（差別？）

専門外の人々が原子力業界を指す言葉。やや差別的

「村」自体は差別用語と思わない

※観察的な観点

※出自：どこから？

イダテツナリさんが作った単語

原子力についてよくわからないから生まれた言葉

マスコミが嫌いな人たちにつけた名前

※使用

事故の後に良く聞く

自分たちは使わなかった（今も）

言葉だけが一人歩きしている感じがする

※そもそも知らないという事実の指摘

まずは何か解らなかった

言葉がわからなかった

自分の知らない世界（初めて聞いた）

ムラって？

内部のモノは意識なかった

原子カムラは昔からあったのに市民はその存在を知らなかった

定義がない

※考察的な観点

※スローガン

④原子力の専門外から見た反原発の意思表示

※出自：日本の文化的背景

本質は日本の習慣・文化に根ざすのでは？

日本そのもの

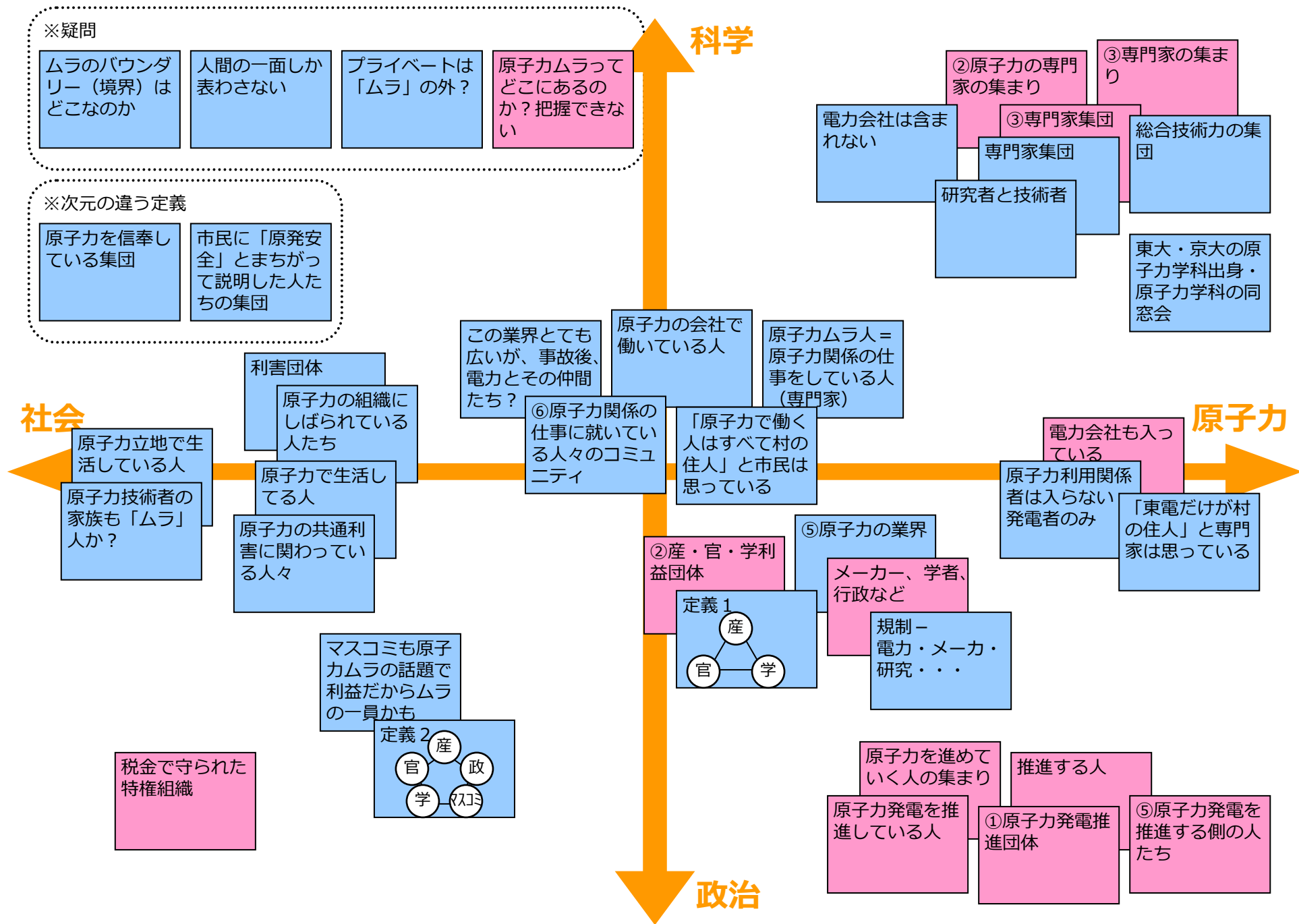
※出自：理由

根本にねたみ

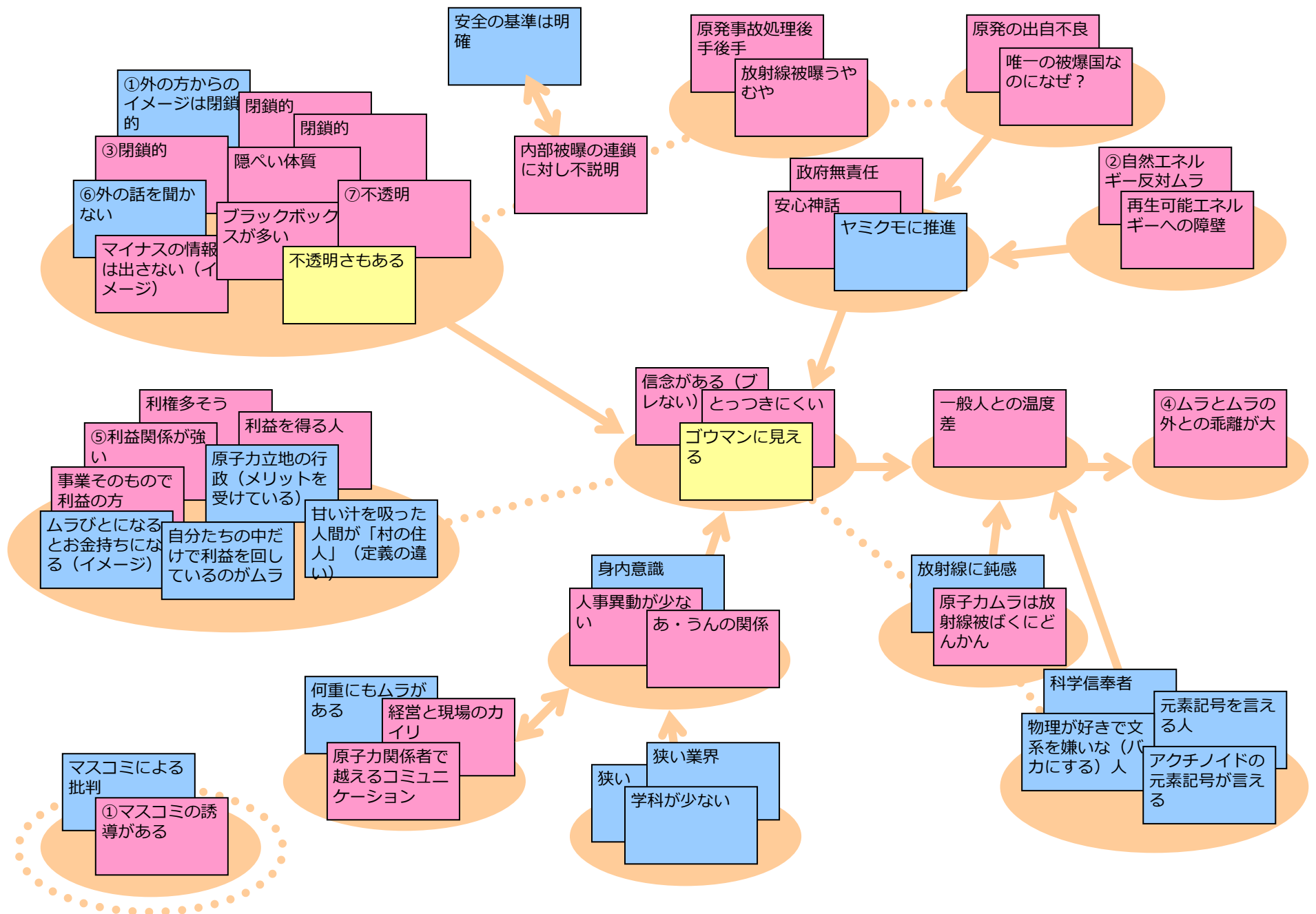
「ムラ」→前近代的なイメージ

日本的

原子カムラとはなんだろうか？ (2/3：構成員)



原子カムラとはなんだろうか？ (3/3 : 特性・性質)



なぜ原子カムラはなんとなくよいイメージを持たれないのか？ (A・1/2)

村人

村人の立場から

村の人がイメージを気にしないからです
反論もしない
地域の人にはきちんと説明して良いイメージを持ってもらおうとしている
イメージをよくする必要を感じない (別に困らない)
イメージをよくしようという気持ちがない
沈黙は金 (美德) だから

軍隊の論理 (同一行動、同一目的)	空気の問題 (反対の意見が出ないor出せない)
-------------------	-------------------------

メディアが悪いイメージで使っている	マスコミのマイナスイメージ報道
-------------------	-----------------

マスコミの影響

マスコミ

責任をなすりつける対象になっている
村の人が社会とつながることを望んでいないから
スケープゴートにされているから (いけにえ)
説明できる場がないから

立場立場の情報発信をわかりやすく
専門家の話は分かりにくい (専門分野が狭い)
利権集団 (自分だけ甘い汁を吸っていてずるい)

閉鎖的だから

閉鎖的だから	閉鎖的だから
--------	--------

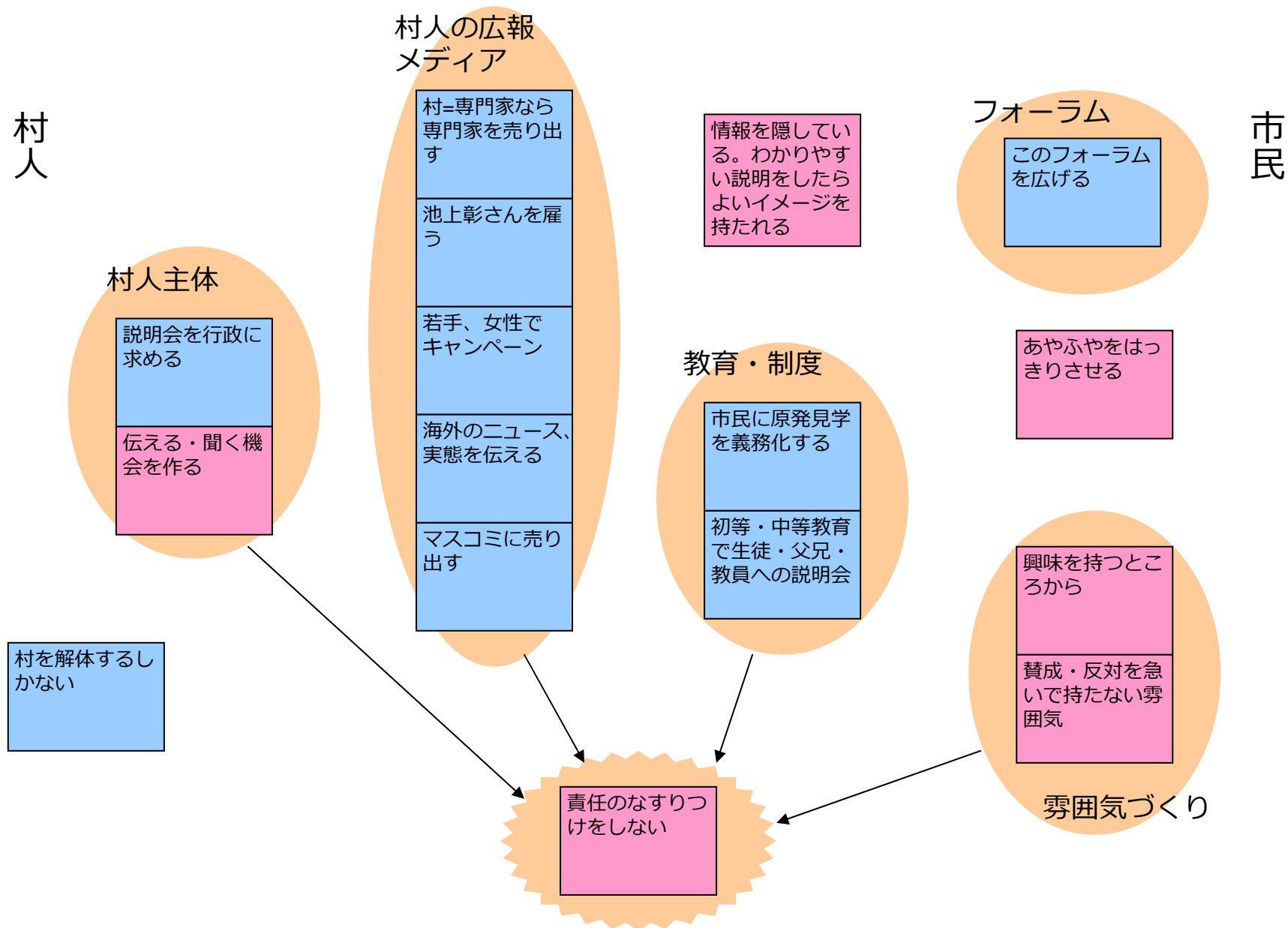
閉鎖的

市民

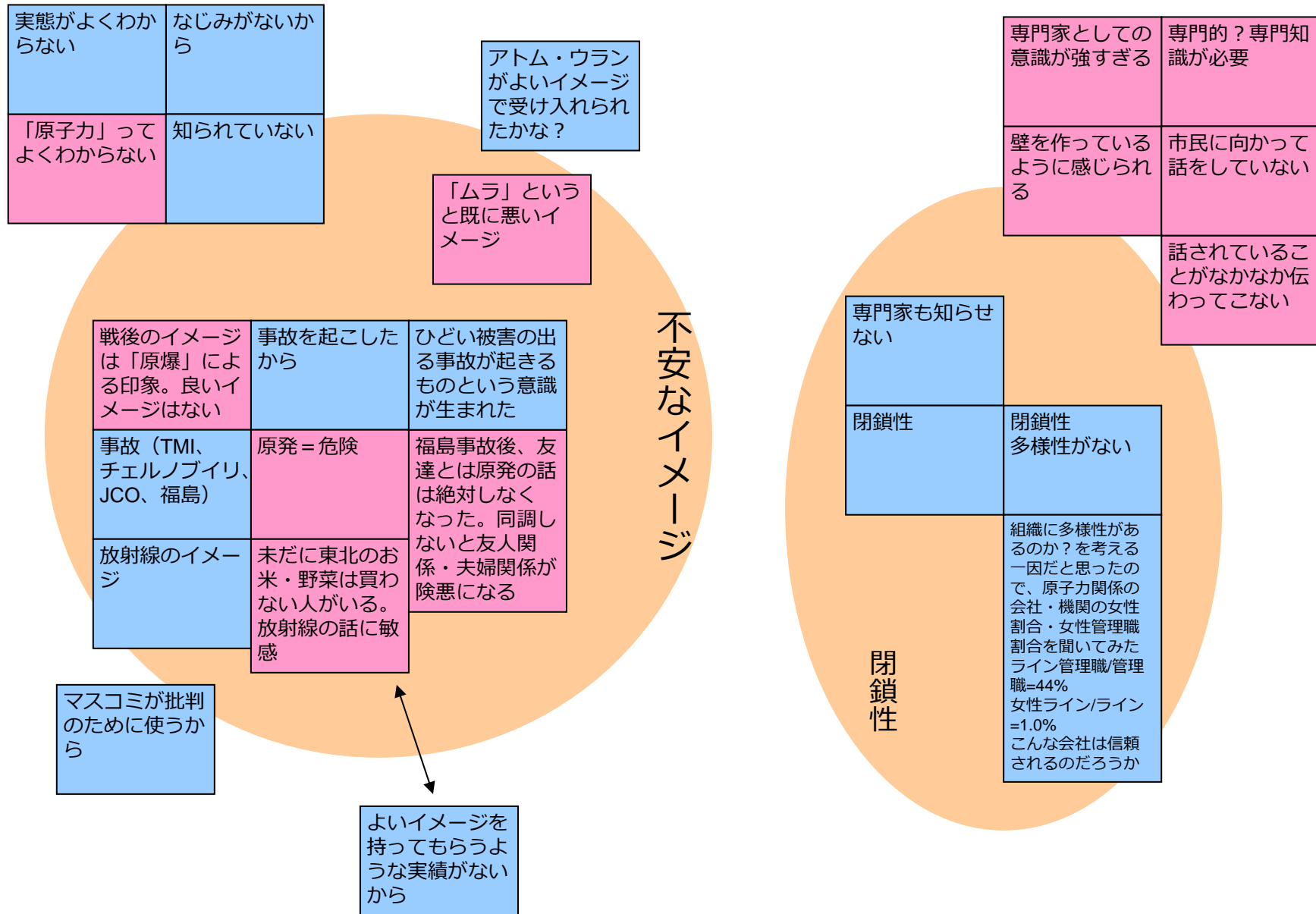
市民の立場から

説明が難しい	放射能をまいたと思われるから
専門家の言葉がわからないから	原子力 = 放射能
よくわからないものだから	原子力は危険な技術という考え
私の世代が決めて作ったものではないから	なんとなく原子力と聞くとイメージがよくないから
原子力と名のつくものに悪いイメージ	将来の方向性が見えない
日本人のアレルギー	税金による収束
一般の人も賛成・興味あるといいづらい	すでに破綻
	企業としての原発は無理

そのイメージを払拭するためにはどうしたら良いだろうか？ (A・2/2)



なぜ原子カムラはなんとなくよいイメージを持たれないのか？ (B・1/2)



そのイメージを払拭するためにはどうしたら良いだろうか？ (B・2/2)

多様性・透明性

閉鎖性の原因を出していく（明らかにしていく）

対話を進める
（このフォーラムも一つ／知合いをつくる・ふやす／専門家同士でも）

魅力をアピール

企業の広報
→学校へ出張授業

原子力関係の組織の幹部に多様性を持たせる
例：幅広い年代層 40代、50代、60代 / 女性を増やす。1割以上とか / 他組織の経験者を入れる

ボーイングエベレット工場、エンジニアの17.9%が女性とガイドさんが説明

安全に事業を進める

放射線

不安を払拭するような情報

医療で使う放射線は良いとも学ぶので一概に悪くない

放射線、客観的に良いことにも使われることを知らせる

専門家が知らせる情報と市民が知りたい情報にギャップがあるのでは？

教育

放射線のイメージ「知られていない」のは教育に問題あり

学校教育でもっと詳しく教えてほしい

教育（？）
授業

ちゃんとした教育をする

教育

学校教育「放射線のリスク」「化学物質のリスク」など

大人へは無理

なぜ原子カムラはなんとなくよいイメージを持たれないのか？(C・1/2)

①-1 わかりにくい説明

わかりにくい説明	理解してもらえていない
----------	-------------

難解	受け手が理解しようとしていない
----	-----------------

言葉そのものが難しいのか？説明が良くないのか？	
どちらもあるコトバ・内容が難しい	

電力会社の情報のみ	問題が起きて説明
-----------	----------

発信の仕方が悪い？	説明不足 努力足りない
-----------	----------------

発信不足	前向き情報発信なし
------	-----------

説明放棄	全体説明なし (エネルギー etc.)
------	------------------------

①-2 真実を語っていない

真実を語っていない	情報そのものが正しくない
-----------	--------------

実態を隠しているイメージ	隠ぺいが多いイメージ
--------------	------------

周囲からの疑問、意見に耳を傾けないイメージ	素人は口を出すな！
-----------------------	-----------

言葉の難しさでごまかされている？(のかも)	言い訳ばかり
-----------------------	--------

都合良い説明	問題があった時に外部にもれない
--------	-----------------

ムラの住人の間でも説明不足あるのでは...

原子力ほどこまめだが範囲が。全体の把握者がいない

ムラの間も答を持っていないのでは...

全体説明をするべき人はいるが説明が的確でない少なくとも受け取る側はそう思っている

誰が責任をもって情報発信するのか

学会としての意見なし

事故が起きると影響が大きい	一般の事故とは大違い
原子力の影響のこわさ	長いスパン

個別対応のみ

悪いイメージを払拭する必要があるのか

排他的	閉鎖的
不透明	閉鎖性

②多額な金額が絡む

多額な金額が絡んでいる

地方に負担をかけている	利益誘導
一部にお金・雇用が集中	プロジェクトには巨額な費用がかかる
お金ですませている	米軍施設と似ている

③マスコミの影響

マスメディアの取り上げ方
原子力自体のイメージが悪い
マスコミの影響

そのイメージを払拭するためにはどうしたら良いだろうか？(C・2/2)

①丁寧な説明

ていねいな説明

真摯に質問に答える

報道官育成

分野ごとの専門家によるわかりやすい説明

含サポート責任体制明確化

②透明性

透明性

原子力組織をクリアなものにする

すべての情報を出すか、それとも一切出さないか

都合の悪いことも全部出す

お金の使い方の透明性

外部の目を入れる

第三者の理解

わかりあえる人達とまずはコミュニケーションする

各自が落ち着いて自分の意見(原子力の賛否)を出すこと

メディアに対して説明を促す

原子力関係者が信頼を取り戻すこと

情報に左右されない

原子力は怖くないことのアピール

ゆるキャラを作る

無関心であるためには政府への信頼が必要	一般論として関心を持つのは良いこと
---------------------	-------------------

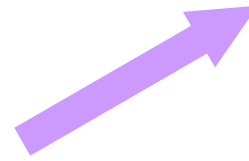
①順調なら不要	
生命倫理も同様リスクとメリット	順調なら関心不要
放射線利用の実態が知られていない	平和なら無理に関心を持たなくても社会は回っていく
医療における利用など	昔から何も問題なければ関心持たれない
	危険性について問題があるから関心

②非常に広範		
無関心は政府の政策	知ろうとすると非常に広範	例えば専門的なことを本当に一般の人は知ろうとするか？
論点整理で一つ一つ解決	技術的：放射線 社会的・政治的：エネルギー問題、保障措置	・IPS細胞 ・3Dプリンタ ・いろいろな技術も知識程度
解決策 どうにかして一般の人でもわかるようにする		
原子力を身近な問題ととらえる	原子力に関する情報、教育が根底に必要	

③エネルギー	
原子力=エネルギーのこと	電気のスイッチが入れば原発
	原発だけが原子力ではない
今後これだけの量のエネルギーが必要なのか	エネルギー問題としての関心
原子力対他のエネルギーのリスクの差があるか	安全保障（エネルギー、経済他）



原発や放射線の健康への影響などに問題がしぼられれば具体的に関心が持てる



原子力と原発はイコールなのか？
一般的にはそう思っている

危険性、利便性、有用性の検討	原子力のこれまでの経緯をはっきりさせないと法的なことはいまいすぎ	無関心なら、賛成も批判もするべきじゃない	関心・無関心は他のものと比較して良いのか？（相対的な関心）	長期の安全（放射能）	「どうしたらいいか」は分かりにくいので、「そもそも何か」から話し合う	あとから文句を言わないため、自分の意見を
----------------	----------------------------------	----------------------	-------------------------------	------------	------------------------------------	----------------------

原子力に関心を持つためにはどうしたらよいか？ 無関心は本当にダメなのか？ 「原子力への関心」とはそもそも何なのか？ C

教育	
リスク教育が大切（原子力に限らず）	学生向けのフォーラムを開く 教育を行う
	学校教育～生涯教育
コミュニケーションをしっかりとる事の努力	どんな方法を使ってもアピールする
専門家も開いた気持ちを持って対応	どうして必要なのかを考える 「技術」は説明困難→「人」なら理解できる 専門家を表に出して信頼度をあげる この人なら信頼できる人を作る

原子力への関心をあげれば「村」のイメージはあがるのか

日々のマスコミ情報を注視する
関心→より関心高。さけていた部分がなくなってきた

肯定（ダメじゃない）	否定（ダメ）
無関心でもよいのでは？	「リスクのない社会はない」このことを市民も理解すべき
必要性を感じていなければ	無関心ではいけない
人それぞれなのでそうであってもいいのでは	全国民の義務！（原発の安全は全国に影響するから）
個人のレベルの問題	この狭い日本に原発があるのだから関心を持つべき
情報多いので自分で選ぶ世の中→興味がなければ無関心に	世の中の危険についてもっと知るべき
山ほどのリスクを知った上で原子力について無関心ならOK	無関心でも許されるテーマはあるが、原発はあるのだから
市民としてそこまで追究しようと思わない	
他にもっと興味を持つことがあるし	

内容が複雑すぎて理解できないから無関心になる

事故・放射能	
常に頭の中にある	専門家と市民の互いが相手に対して前向きになる
興味がある	
知的好奇心	エネルギー問題を勉強しないと答は出せない
住んでいる地域によって感覚が違う。身近に感じない（九州）	エネルギー（どこから来るのか）
前はあまり身近に感じられなかった 事故以降関心が出た	

もう一度事故が起きたら原発自体はどうなるのか？

自分がひどい目に合わないかわからない→無関心

福島の野菜を買うか？

福島産を選んで買う

福島産を選んで買う

出身地で福島産を買う稼働が無記名で調べたら面白い

原子力に意見を持つこと